



ほいくしつだより 2017年10月

社会福祉法人ピスティスの会 小規模保育室

2017年度聖句 「あなたがたは神に愛されている子どもです。」

エフェソの信徒への手紙5章1節

心地よい風に甘い金木犀のかおりが漂い、毎日の散歩が楽しみな季節になりました。

小規模保育室では、子どもたちの発達段階や個性にあわせて様々な方法で散歩にでかけています。幼い子どもたちは、個々の体力や脚力、体の柔軟性やバランス、歩幅、興味の対象や危険に対する感覚、言葉の認識など一人ひとり違うため、安全でかつ楽しい散歩をするためには、多くの配慮が必要となります。あんよの頃は、公道では散歩車に乗り公園などの広いところで十分にあんよを楽しみ、言葉の理解や歩行の安定をみながら車通りの少ない場所で大人と手をつないで歩く経験をしていきます。はじめは不安で大人の指をギュッと握りしめている小さな手ですが、経験を重ねるうちに徐々に握り方がかわってくるのがわかります。寄り道をしながら小石や落ち葉を拾ったりするのも楽しみの一つです。手の握り方や歩行の様子、危険に対する感覚や友だちとの関係などをみながら、徐々に友だちと手をつなぐ楽しさも経験していきます。

おうちでの外出はベビーカーに乗ることが多い時期だと思いますが、さわやかな秋の風を感じながらお子様との散歩を楽しんでみてください。



10月の聖句

「励まし合いなさい。思いを一つにしなさい。」

コリントの信徒への手紙Ⅱ 13章11節

スポーツの秋！！【子ども時代の運動習慣が大切なのはどうして？】

① 子ども時代の「好き！」は一生続く財産

子どもの頃に運動が好きだった人は、一生運動好きになる傾向があることがわかっています。大人になってからより、子どもの時に運動習慣をスタートする方が、運動好きになりやすいのです。

② 子ども時代に、動作や運動の記憶ができる

スムーズな日常生活活動には、汎用性（広く応用の効く）動作が小さい頃に記憶しておくことが必要です。これを「動作記憶」といい、幼児期から小学校低学年（7歳くらい）までに形成されます。この時期は、あらゆる動きの土台を作る神経の発達の時期で、スポーツというよりは、遊びの中で多様な運動動作ができるようにします。関節や靭帯が未熟なので、運動器への強い負担を避けることも必要です。何より、身体を動かすことは楽しい、という経験をさせてあげましょう。
～「くやま小児科だより」抜粋～

今月の予定

お弁当の日 (4・水)

集金引き落とし日 (16日・月) *預金状況をご確認ください。

内科検診 (17・火) へいわオリーブ・へいわかしの木保育室
(24・火) へいわこぼと・へいわちいろば保育室
(25・水) へいわみのり・へいわこえだ保育室



*年2回の検診(6月、10月)で両方受けられなかったかたは、ご家庭で受診後、各保育室ご報告をお願いします

避難訓練 (17・火) へいわこぼと・へいわちいろば・へいわみのり・へいわこえだ保育室
(23・月) へいわオリーブ保育室
(25・水) へいわかしの木保育室

親子ピクニック (28・土) ピスティスの会小規模保育室6か所合同の親子ピクニックです。保護者の方の交流の場としても是非ご参加ください。

場所: 松戸中央公園 10:00~12:00(雨天中止)

*詳細は別紙にてお知らせします。



お知らせ【子育て講座のご案内】

11月2日(木) 18:00~19:00 松戸教会6階礼拝堂

講題 「子どものほめ方 叱り方」

講師 やまがたてるえ先生(助産師 パースセラピスト)

*3つの保育園と合同での開催です。参加は任意ですが、必要に応じて保育をおこないますので、各保育室にて出欠をご記入ください。(10月中旬に受け入れにいたします。)

【衣類の補充と記名について】

衣替えの時期となりましたが、気温差が激しい日が続いていますので、長袖・半袖の両方をの補充をお願いします。

記名のない持ち物が増えていきますので、あらためて確認をお願いします。